

2022年

春のイルミネーション点灯プロジェクト

日時：令和4年3月20日(日)

会場：城名樋山・市役所ピロティ

★イルミ設置記念植樹

城名樋山

★プロジェクト記念式典

雲南市役所ピロティ

★イルミネーション点灯式

雲南市役所ピロティ

主催：城名樋会

後援：雲南市・雲南市教育委員会

雲南市商工会・雲南市観光協会・雲南市さくらの会

雲南市ウォーキング協会・斐伊地域づくり協議会

公益財団法人 ふるさと島根定住財団

城名樋会活動履歴

平成28年	3月	城名樋会結成
平成30年	8月	広島方面ホテル電飾現地視察
平成30年	10月	出雲市上島町現地視察（城跡地）
平成31年	2月	役員改選
令和元年	5月	イルミネーションプロジェクト設立趣意書関するアンケート調査
令和元年	6月	ふるさと島根定住財団助成金事業説明会（打合せ）
令和元年	6月	イルミネーションプロジェクト設立総会
令和元年	11月	イルミネーションプロジェクト事業活動スケジュール説明総会
令和元年	11月	雲南市市民活動団体登録申請
令和元年	12月	雲南市市民活動団体登録通知書
令和元年	12月	雲南市普通財産借受申請 電飾用地借受期間令和7年12月31日
令和元年	12月	公益財団法人ふるさと島根定住財団助成金交付申請
令和2年	1月	野外広告物許可申請（表示面積24㎡）表示期間令和7年31月
令和2年	1月	令和元年度 第2回地域づくり応援助成公開審査会（審査委員7名）
令和2年	1月	令和元年度 第2回地域づくり応援助成金採択
令和2年	2月	イルミネーションプロジェクト事業役割分担協議会
令和2年	2月	電飾やぐら資材運搬、建設・通電工事
令和2年	3月	電飾文字作成（サクラ）点灯セレモニー
令和2年	4月	子どもに語ろう斐伊の歴史 制作開始
令和2年	6月	電飾文字作成（ホテルの里）
令和2年	10月	電飾文字作成（きなひ山）
令和2年	12月	子どもに語ろう斐伊の歴史 完成（8か月間費）
令和3年	3月	電飾文字作成（さくら）児童、保護者（16名参加）
令和3年	11月	電飾文字作成（うんなん）児童保護者（24名参加）

本事業の経過説明に合わせ、当斐伊地域の状況を説明させていただきます。

当地域は、皆さまご案内の通り尾原ダム建設に伴い移転された皆さん、尺の内工業団地・住宅団地造成により定住された皆さん等、雲南市全域では人口減少に歯止めがかからない中、当地域はこの40年間に746世帯数、人口数2104人と（世帯数427増・人口数444増）増加してまいりました。（6割が転入世帯）

しかしこの地域の歴史・文化・伝統を知る人が少ないという地域課題も生じ、地域の現状や課題を踏まえ地域の活性化を図るため、平成23年に第1次斐伊地区振興計画（23年～28年）が策定され、地域の将来像「元気が一番、斐伊の郷づくり」を創造する基本構想が定められました。

平成20年3月には地域の将来像（当時斐伊小学校5・6年生）が描いた「夢マップ」が作成されていました。これを基本計画にその具現化に向け各事業が計画され、平成23年には請川・山田川堤防沿いに桜を（70本）植栽、平成24年は請川にホタルの生息地づくり事業「さくら舞う斐伊の郷づくり」「ホタル舞う斐伊の郷づくり」を行い、正に「夢マップ」の具現化が図られました。

又、平成26年には城名樋山に島根県緑化推進事業団の補助事業によるサザンカ・ハナミズキ各50本を植栽し、憩いの展望公園化と城跡としての観光名所になりつつあります。

このたびのプロジェクト事業は、平成29年第2次斐伊地区振興計画の目指す将来像は、「笑顔あふれ つながり広がる 斐伊の郷」が基本目標であります。

この地域の良さを生かし次の世代につなぐことの大切さを重点に、この地の宝とする山、城名樋山史跡を中心とした歴史や文化・伝統を再認識してもらうことを目的に、映像で学び次世代につなぐためのDVD「子どもに語ろう斐伊の歴史を」を制作する伝承事業と「城名樋山」を地域内外にPRするための重飾事業に取り組みました。

この二つの事業を進めるに当たり既に平成28年3月に結成されていた城名樋会が幾多の現地視察・山城に関する研修会を重ねて検討してまいりました。

令和元年5月から数回にわたり住民の皆さんにプロジェクト事業の説明会及び検討会を開催し、事業に関するアンケート調査も行い多くの意見を参考に事業推進に取り組んでまいりました。

令和元年12月には雲南市市民活動団体への登録を行い、令和2年1月には「ふるさと島根定住財団の地域づくり応援助成金」を申請し審査会での採択となり本事業に取り組むことができました。

二つの事業経過をご報告させていただきます。

① 伝承事業

城名樋山を中心とした斐伊の歴史を映像で学び、誰もが語り継ぐことができる地域を目指し制作した「子どもに語ろう斐伊の歴史を」のDVDは令和2年12月に完成し多くの皆さんに購入頂き視聴していただいています。

☆視聴した子どもたち感想には、「気づきや発見がたくさんあった。」「写真がたくさんあって分かりやすかった。」というものが多かった。

② 電飾事業

子どもたちとの協働による電飾文字及び絵柄の作成。

電飾文字は（サクラ）・（ホタルの里）・（きなひ山）・（うんなん）（さくら）

本日の点灯式は（市章）であります。

☆イルミネーションづくりに参加した子供たちの感想は、みんなと協力して作れたからとても楽しくできた。

最後になりますが

本事業に物資両面にご支援、ご協力賜りました多くの皆さまをはじめ応援助成金申請にご指導いただきました、ふるさと島根定住財団、雲南市の各部局の皆さんに深く感謝申し上げ経過説明といたします。

本当にありがとうございました。